

誰一人取り残さない脱炭素の未来の実現



ZERO CARBON
HOKKAIDO
MATSUMAE

松前町脱炭素ロードマップ（概要版）

地球温暖化対策 地方公共団体実行計画（区域施策編）

地域気候変動適応計画

2023（令和5）年3月策定／2026（令和8）年3月改訂

1 ロードマップの位置付け

2023（令和5）年3月に策定した「松前町脱炭素ロードマップ」を、国内外の政策動向や本町を取り巻く環境の変化を踏まえて改訂します。中長期的な温室効果ガス削減目標や重点施策の見直しを行うとともに、気候変動の影響への適応の取り組みを具体的に進めるための計画を新たに加え、脱炭素化（緩和）と適応を一体的に推進していきます。

松前町総合計画

↑内容を反映

松前町脱炭素ロードマップ

松前町DX推進計画

松前町スマート・シュリンク
SXビジョン

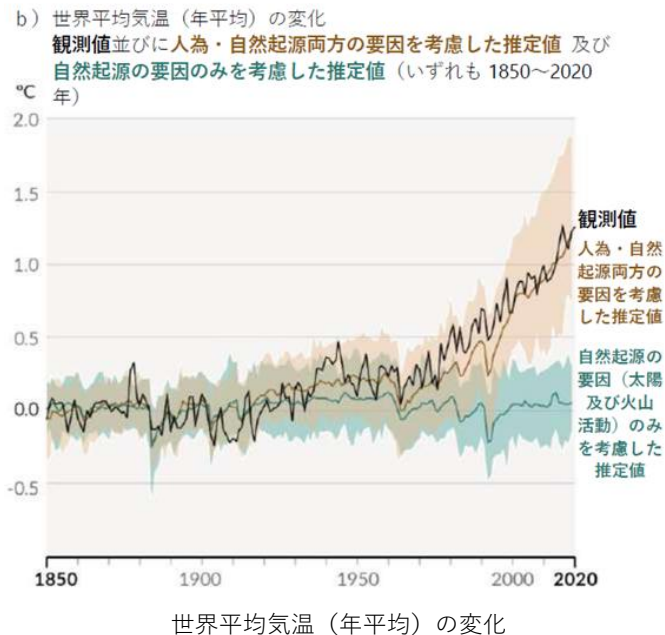
松前版SDGs
チャレンジアクション

松前町脱炭素ロードマップと他の計画との関係

本町では、2023（令和5）年3月6日に、「2050年CO₂実質排出ゼロ」を目指すゼロカーボンシティ宣言を行いました。

2 脱炭素化に向けた国内外の動向

地球の平均気温は、大気中のCO₂の濃度の増加に伴い温暖化が進み、工業化以前（1850年代～1900年代初頭）の気候より1.0℃上昇しており、国際的な気候変動の専門家による報告書では、「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」とされています。



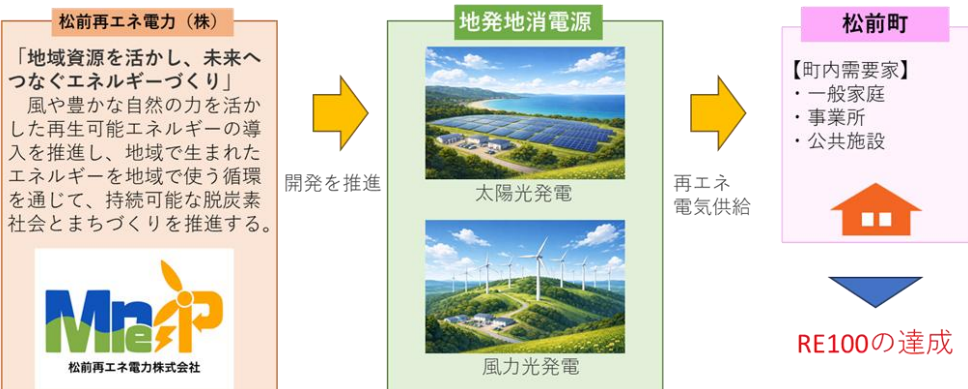
2021（令和3）年に行われたCOP26では、気温上昇を1.5℃に抑えることが目標として合意文書に明記されました。目標達成には、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとするだけでなく、2030年までに排出量を大幅に削減する必要があるとされています。

2023（令和5）年3月の現行ロードマップ策定以降、日本国内では、脱炭素化を軸としつつ、気候変動への適応や資源循環、生物多様性の確保などを一体的に進めるための法改正や計画策定が相次いでいます。

3 松前町内における動き

町内再生可能エネルギー事業の動向

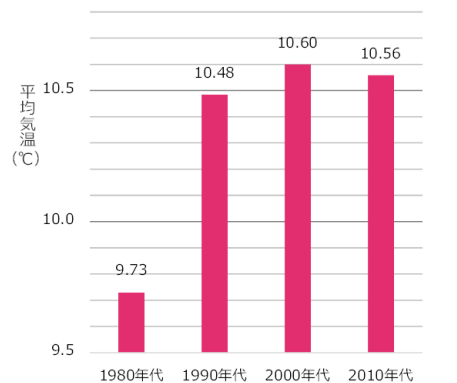
本町は2025（令和7）年4月1日に町内初となる地域エネルギー会社である「松前再エネ電力株式会社」を町と協力企業の共同出資で設立し、再生可能エネルギーを地域の電源として主体的に活用していく体制づくりを進めています。



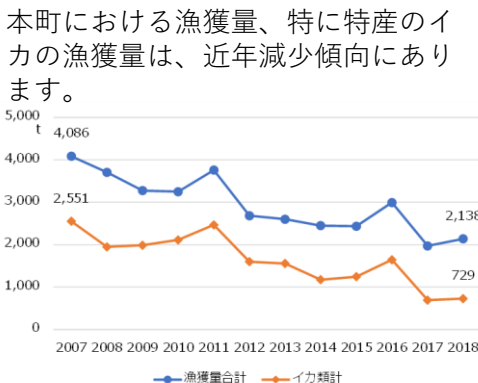
松前再エネ電力株式会社の事業体制スキーム

4 松前町と気候変動の今とこれから

本町の平均気温は、1990年代以降はどの10年間の平均気温をとっても、1980年代と比べて0.8℃前後高くなっており、温暖化が進行しています。



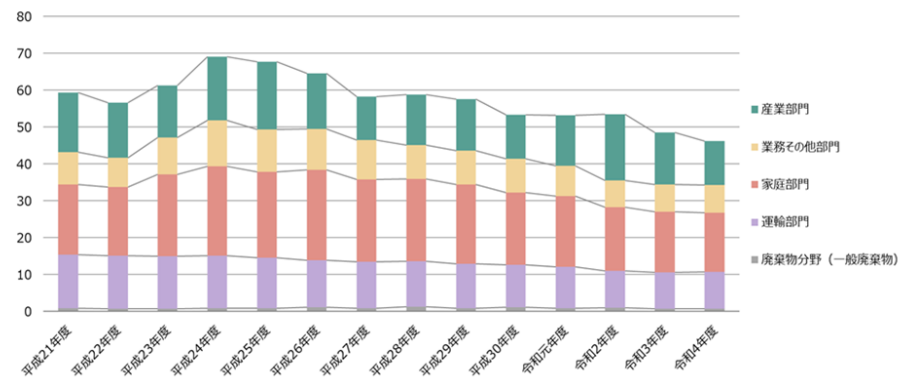
松前における1980年代からの気温変化



松前における漁獲量の推移

5 松前町におけるエネルギー消費とCO2排出量の現状

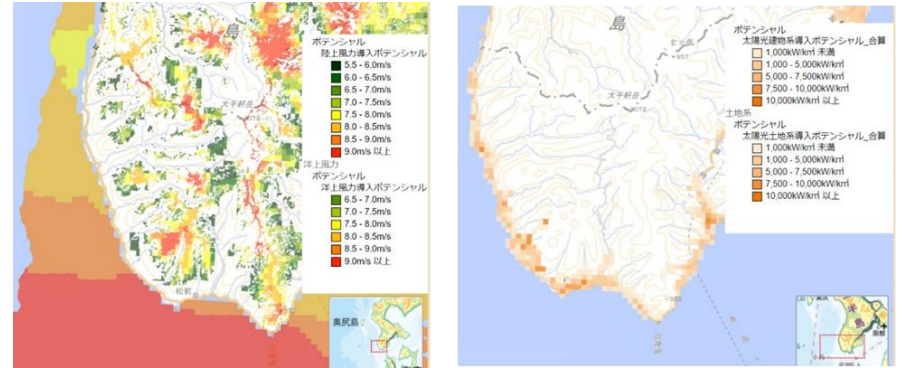
本町における2022（令和4）年度のCO2排出量は、事業所や人口の減少に起因し、2013（平成25）年度と比べて約32%減と大きく減少していますが、**脱炭素化に向けてはさらなる対策が必要**となります。



松前町における部門・分野別CO2排出量の推移
環境省自治体排出量カルテ <https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/karte.html>

6 再生可能エネルギーの導入状況とポテンシャル

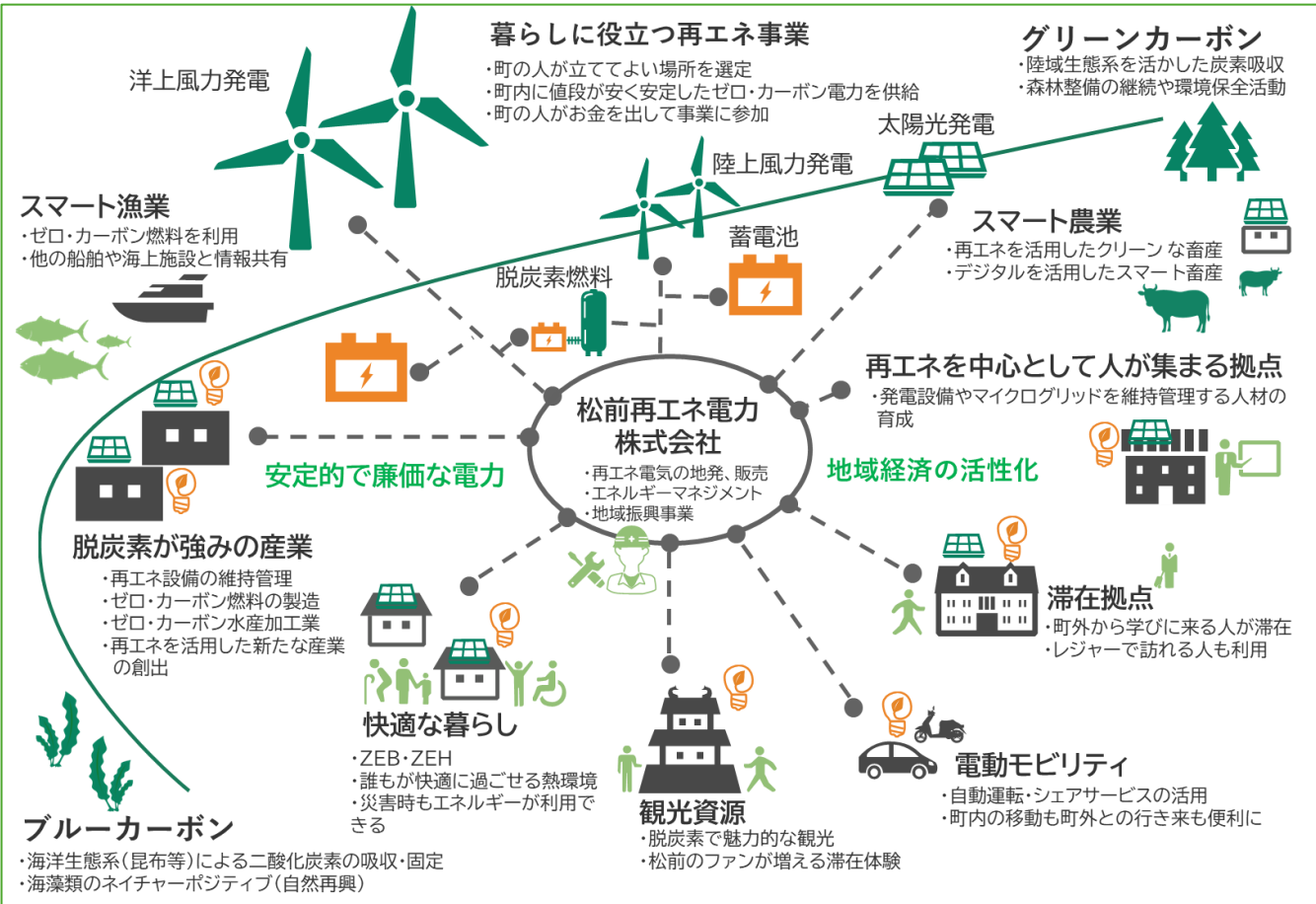
本町では、恵まれた風力資源を背景に、風力発電を中心とした再エネ設備の設置が進んでいます。現在、町内の再エネ発電による年間発電量は約96GWhに達しており、町内で消費される年間電力量（約30GWh）の約3.2倍を再エネで賄える状況にあります。



松前町の再エネポテンシャルマップ(左：風力発電、右：太陽光発電)
(環境省の再生可能エネルギー情報提供システム (REPOS) により推計)

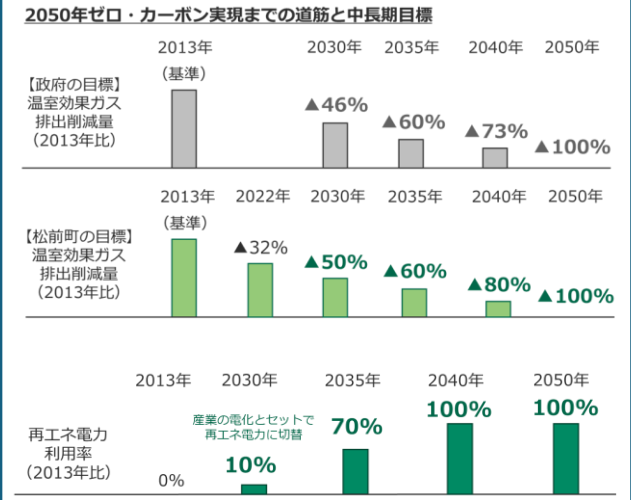
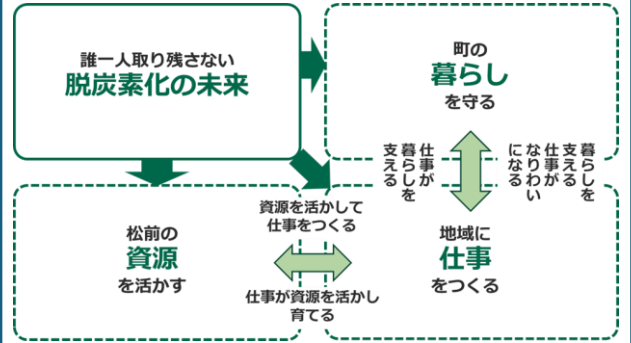
脱炭素化を通じて目指す将来の姿（RE100まつまえ構想）

脱炭素化を通じて本町が目指す将来の姿を「RE100まつまえ構想」として整理しました。本構想は、町内で発電した再エネを町内で活用し、エネルギーの地産地消による循環を生み出すことで、地域の経済や日々の暮らしを支え、持続可能な地域社会の形成を目指すものです。こうした取組を通じて、次世代に誇れる脱炭素社会の実現と、将来にわたって暮らし続けられるまちづくりを目指します。



脱炭素化を通じて目指すこと

町民アンケートや松前高校生との意見交換、松前町脱炭素ロードマップ検討会での議論を計画に反映し、本町は「誰一人取り残さない脱炭素の未来」を目指します。



目指す姿を実現するためのロードマップ

■暮らし

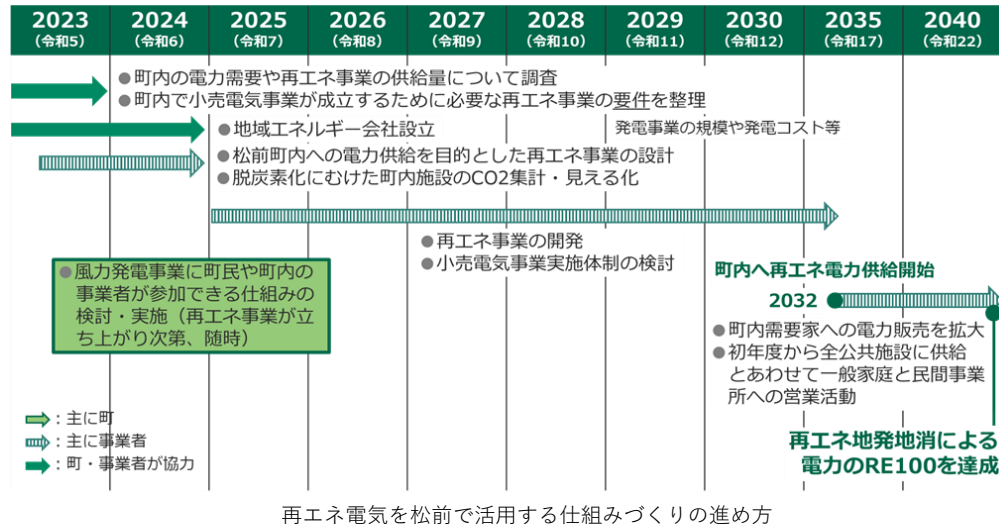
- 再エネ由来の電気を松前で活用する仕組みづくり
 - 地域エネルギー会社が町内に再エネを販売
 - 風力発電事業に町民や町内の事業者が参加できる仕組みの検討
- 住宅・建物をZEH・ZEB化、**暖房・給湯の電化の推進**

■産業

- 再エネ電気の供給・維持管理拠点の基盤づくり
 - 風力発電の維持管理人員の町内雇用
 - 風力発電の維持管理に関する研修（陸上・洋上両方ある強み）
- 脱炭素を強みとする産業の育成
 - 再エネを利用した商品やサービスの開発・販売、**再エネを活かした産業の立地、脱炭素燃料化の推進**
 - 洋上風車周辺の海域を漁場化（漁船の航続距離が短くて済み、電化や燃料電池化のハードルが下がる）

■移動

モビリティの電動化 **PHEV・EVの導入の推進**



8 地域気候変動適応計画

国および道の気候変動適応計画を確認し、特に松前町に影響のある分野・項目を選定し、町・事業者・町民の協力により適応策を推進する「地域気候変動適応計画」を策定しました。



気候変動適応情報プラットフォーム (A-PLAT)

9 推進体制

本町の脱炭素推進課が中心となって「松前町脱炭素再生可能エネルギー推進協議会」との連携を図り、本ロードマップに定めた緩和策と適応策の双方を推進していきます。

松前町脱炭素ロードマップ 地球温暖化対策地方公共団体
実行計画（区域施策編）
本編はこちら



発行：松前町
編集：脱炭素推進課

〒049-1592 北海道松前郡松前町字福山248番地 1
TEL 0139-42-2275 (代表) FAX 0139-46-2048
<https://www.town.matsumae.hokkaido.jp/>